

教員おすすめ図書コーナー推薦書

教員氏名	おすすめメッセージ
谷川 卓 先生	
① 図書名：『ミュージック・ヒストリオグラフィー：どうしてこうなった？ 音楽の歴史』 著者：松本直美 出版社：YAMAHA	音楽史について書かれた本です。・・・が、このように紹介したとき、ポイントは実は「について」というところにあります。この本では、どの時代にどのような音楽があったかではなく、そのような音楽の歴史について語る営みが何に注目してきたのかが論じられています。「なんだかややこしそうな本だな」と思われたら、それは私の本意ではありません。非常に読みやすい本ですし、また何より音楽についていろいろ考える視点を提供してくれる面白い本です。たとえば音楽の歴史を語るときには、演奏家や聴衆よりも、作曲家（バッハとかベートーヴェンとか）が取り上げられることが多いですが、それはなぜなのか。そんな問い合わせについて論じられています。
② 図書名：『悪口ってなんだろう』 著者：和泉悠 出版社：筑摩書房	だれしも悪口は言ったことも言われたこともあるでしょうが、しかしそもそも悪口とはいっていい何でしょう。この本は、悪口について哲学の観点から検討をしています。たとえば悪口は悪いと考えられますが、どうして悪口は悪いのでしょうか。おそらくは最初に思い浮かぶだろう、「人を傷つけるから悪い」「悪意があるから悪い」といった答えが否定されています。では、悪口はどうして悪いのか。それが気になったらぜひ本書を読んで、著者の答えについて考えてみてください。
③ 図書名：『SF マンガで倫理学』 著者：萬屋博喜 出版社：さくら舎	世の中には道徳的に善いとされていることと悪いとされていることがあります、しかしそうした事柄はどうして善いとか悪いとかとされるのでしょうか。そういう問い合わせを扱うのが倫理学という学問ですが、それに SF マンガを素材に入門してみようという本です。本書は、倫理学的な考察を展開するとはどういうことなのかを、取り上げた作品の魅力を引き出しつつ示してくれています。なお、本書の各章の各節では問い合わせが提起されていますが、それに対して何か明確な答えが提示されているわけではありません。しかし、大事なことは、その問い合わせについて考えることなのです。